

双葉が開き、小鉢上げをする

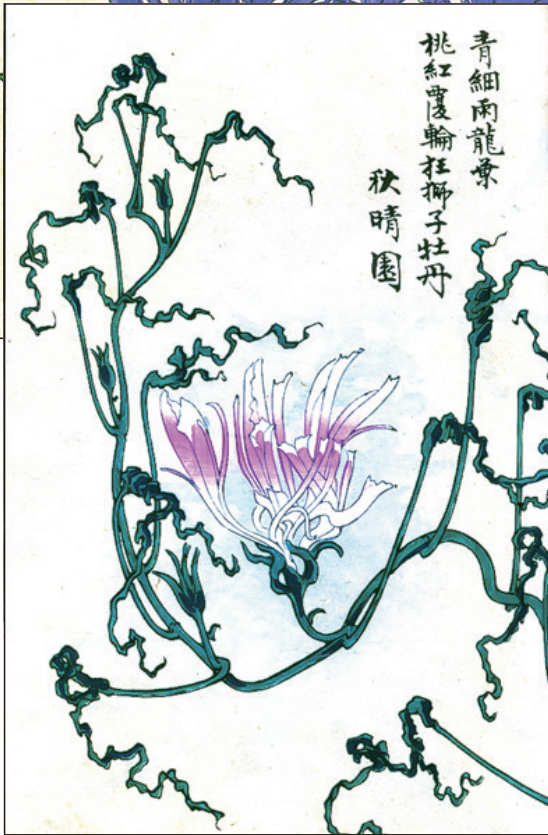
変化朝顔栽培手引き

小鉢上げ・初級編

紺入渦打込抱林風室割葉
紅藤内外島甲廿三ノ鬘文薬玉獅子牡丹
長谷川悦尖軒



香雲



青細雨龍景
桃紅霞輪狂獅子牡丹

秋晴園



渦掬水ノ景黄儂鳥兜牡丹

秋晴園

1. 小鉢上げのために準備するもの

1 鉢

発芽した苗をすべて1苗ずつ小鉢に植付ける。
大きさは7.5cm位の駄音鉢、ビニールポット等を苗の数と同数用意する。
大きすぎると水分過多になり根の張り、苗の成長に影響する。

2 ラベル(小型の物)、鉢底用ネット

ラベルは品種を分ける為に鉢の数分用意し、1枚ずつに品種名と番号を記載する。

3 用土

用土の条件として、なるべく下の四つの条件を満たす用土を用意します。

- A. 水はけがよい
- B. 保水性がある
- C. ある程度、肥料分がある
- D. ある程度の粒の大きさがある

同じ用土で栽培しても、環境により乾燥し過ぎ、または水分過多になったりしますので、栽培環境を考慮し用土をアレンジして下さい。

4 用土の種類

A) 市販の培養土を使用する時は、一般的に土が細かいので腐葉(篩<ふるい>で中位の物)10%と赤玉の中粒20%を混ぜる。(必ず両者共に微塵を抜く)

B) 土をブレンドして作る(ブレンド土を作る時は十分に混ぜ込む事)

一般的な配合 例として(合計で10ℓ分)

赤玉土(小粒).....	2ℓ
バーク堆肥.....	2ℓ
バーミキュライト.....	2ℓ
パーライト.....	1ℓ
ピートモス.....	1ℓ
クン炭.....	1ℓ
軽石小.....	1ℓ

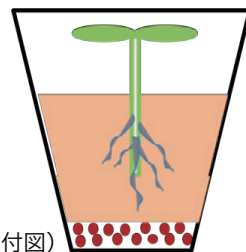
例) ベテラン会員の用土(栽培環境/2階の屋上で栽培、日当・風通し良)

赤玉土(中粒).....	2ℓ
バーク堆肥.....	2ℓ
バーミキュライト(中粒).....	2ℓ
パーライト.....	1ℓ
ピートモス.....	1ℓ
クン炭.....	1ℓ
軽石(小粒).....	1ℓ

(3ページの項目8の「元肥」を十分に混ぜ込む事)

5 植付方

用土は植え付けの前に湿らせておく。
駄音鉢、ビニールポットの穴に鉢底ネットを置き、ゴロ土(赤玉、軽石中粒)等を厚さ1cm程入れ、苗を用土に植えこむ。
また、苗の双葉は鉢の高さを超えないように植え付ける。



(植付図)

6 小鉢の置き場所

日当たりが良く、風通しの良い場所の棚の上で管理する。
庭で栽培する場合は、棚の高さは最低でも60cmほどに、なるべく80cm以上の棚で管理する。ベランダ等での管理でも棚の上で管理する。
棚が低いと、地上の湿度が上がり過湿気味になり徒長苗になる。また、床からの照り返しにより鉢内で根焼を起こす恐れがあります。

7 灌水

朝、灌水し、夕方には乾いている位の水の量を与える。
使用している用土・栽培環境により灌水量が違うと思いますので、各自で試して最良の灌水量を見つけて下さい。
※市販の培養土は、比較的水持ちが良く、ブレンドして作った土は乾燥気味に出来る。

8 肥料

元肥

元肥として、10ℓに対して下記の分量で用土に混ぜて使用する

< ベストな元肥 >

①化成肥料(8・8・8) 10g ②熔燐 20g ③過燐酸石灰 7g ④硫酸カリ5g

⑤虫よけにオルトラン 10g

⑥簡単な元肥 発酵油かす粉末タイプ(カレースプーン大匙山盛り3杯位/25g位)

市販培養土を使用の場合は、肥料分がすでに入っているので元肥は混ぜなくてよい。

追肥

液肥(ハイポネックス・花工場・有機液肥等)の800～1000倍を毎日～3日おきに灌水代わりに与える液肥は、各人により与え方が色々なので、各自の栽培環境に合わせて試して下さい。

9 短日処理 (一般的な方法)

小鉢の状態の花が咲くまで管理します。途中根元の茎に根が出てきますので増し土をする。

朝顔をより早く咲かせるには、短日処理が必要。また、短日処理は親木を決める(親牡丹探り)の為にも必要。

本葉が2～3枚出た頃、なるべく天気の良いの夕方に短日処理を行うと効果が出やすい。



段ボール箱などに遮光を施し利用する



処理時間は夕方4時頃から翌朝8時頃まで。

段ボール箱は隙間から光が漏れ入らないようにして、これに収納して連続した16時間の闇に鉢を置きます。処理は1日～2日繰り返す。

本葉6～7枚目（約3週間後）の付根に小さな蕾が付きます。付かない場合は短日処理をもう一度行います。

10 親牡丹探り／検蕾

蕾が出て、米粒ほどの大きさになりましたらカッターで縦割りにします。中に雌しべがなければ八重咲です。

親木（一重の丸咲の花）：鉢・プランター・花壇・生垣等に植付種取り用に栽培します

親牡丹（八重の丸咲の花）：観賞価値が低いですが花は綺麗に咲く（バラやカーネーションの様に咲く）

出物の一重：鑑賞価値が低い（采咲系統は一重でもソコソコ鑑賞価値がある）

出物の八重：最も観賞価値の高い物 本鉢に植替え 行灯を立てて鑑賞する。

※以降の解説は、次巻「本鉢植替・鑑賞・親木の管理・病気対策」編に続きます。
また、小鉢上げまでの手引きは「種まき・初級編」をご覧ください。変化朝顔研究会のホームページで公開しています。

変化朝顔栽培手引き 小鉢上げ・初級編

2021（令和3）年5月21日 編集
2021（令和3）年5月21日 Vol.1発行

本書の全部、または一部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。また、本書を変化朝顔研究会主催以外の講習会で、テキストとして使用することも厳に禁じます。

編集人：変化朝顔研究会

伊藤和重
石黒和昭
長倉 栄

発行人：坂田岩郎

発行所：変化朝顔研究会事務局

神奈川県横浜市保土ヶ谷区仏向町1059-24
石黒方
変化朝顔研究会事務局
Tel 090-3402-7058

変化朝顔研究会 検索

<https://henkaasagao.tumabeni.com>

©2021 Henka asagao Kenkyuukai

